



つくしんぼだより 9月号

平成29年8月25日
石原かがやきこども園
体調不良児保育
担当: 鈴木・青木

まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすい日が増えてきました。元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないように気を付けましょう。

手足口病が流行しています

県内でも手足口病にかかる人が急増していて8月1日に警報が発令されました。園でも7月から感染者がでています。
症状 手のひら、足の裏、足の背、肘や膝のまわりや臀部に細かい発疹や2~3mmの水疱ができます。舌やほほ、喉の周囲に水疱ができ、痛みのために水分や食事が取れなくなることもあります。

感染経路 飛沫、接触、糞口感染(便に排出されたウイルスが口に入って感染すること)

予防 石鹸と流水でよく手を洗いましょう

症状のある人は自宅でもタオルなどの共用はしないようにしましょう。

おむつは適切に処理しその後しっかりと石鹸と流水で手洗いしましょう。

手足口病は子どもが罹りますがときに大人も罹ります。子どもに比べて、発疹の痛みや関節の痛みが出ることもあります。気を付けましょう。

9月1日は防災の日



もしものときに備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。家に常備してある方は賞味期限など中身の確認をしましょう。園でも毎月(地震・火事・水害)や不審者対策などの避難訓練を行っていますが、ご家庭でも火事や地震が起こったときどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

9月9日は救急の日

ケガにつながらない 備えをしましょう



家庭内で起こりやすい事故として誤飲があります。煙草の吸殻・電池・薬等危険なものは子どもの手の届かないところに保管するのが基本です。また、お風呂での溺水も多く、バスタブに水はためないか浴室に鍵をかけるなどの対策が必要です。自分の子どもの発育を知り、現在どのくらいのことが出来るかよく知らないことから事故は起こります。子どもはあっという間に大きくなり、歩き始め、走り、よじ登り、飛び上がり、すべてのものに興味を持つようになります。この頃は一生のうちでも、最も怪我の多い時期です。しかしまだ自分で身を守ることが出来ませんから、保護者がいつも事故が起こりうることを忘れず、子どもを事故から守りましょう。

8月1日からつくしんぼ室(体調不良児保育室)は3階に移動しました。

今月の感染症状況

今月のつくしんぼ利用状況

手足口病 1名

発熱 1名

RSウイルス 1名

嘔吐 2名 腹痛 3名

ヘルパンギーナ 1名

頭痛 1名